

# リオ・グランデの砦

RIO GRANDE

観賞日 2017・9・11

制作 1950年 アメリカ

上映時間 105分

監督 ジョン・フォード

原作 ジェームス・ワーナー・ベラ

音楽 ヴィクター・ヤング

出演 ジョン・ウェイン モーリン・オハラ クロード・ジャーマン・ジュニア  
ベン・ジョンソン

## (あらすじ)

カービー・ヨーク中佐(ジョン・ウェイン)は南北戦争でシェリダン将軍(J・キャロル・ナイシュ)の率いる北軍に参加し、シェナンド谷の妻(モーリン・オハラ)の親族の所有地の農場を焼いたので、怒った妻は1人息子ジェフ(クロード・ジャーマン・ジュニア)を連れて別居してしまった。ヨークは西部でインディアン討伐戦に従っていたが、横暴なアパッチ族は西部を荒らしてはメキシコへ逃れるので、米軍は追う事もならず、切歯扼腕するばかりであった。シェリダン将軍は彼の砦へ視察に来た。同じ時砦に来た補充兵の中に息子のジェフが志願して、一兵卒として居り、更にそれを追って妻もついて来た。息子が陸軍士官学校を数学の赤点で退学したことを将軍から聞く。妻は息子の除隊を願ったが許されず、彼女も砦に居座る事になってしまった。この時アパッチ族の大挙襲撃が有りついに将軍はヨークに越境の内諾を与えた。彼を待つものが軍法会議であることを知りつつ、彼は敢然部下を指揮して、長駆メキシコへ突入、アパッチの本拠を覆滅した…………。

## (解説)

騎兵隊三部作の最後の作品、1作目がアパッチ砦、2作目が黄色いリボン(2012/H24 上映)で、このリオグランデの砦はアパッチ砦の続編ともいえる作品となっており、大尉から中佐へ階級が昇格している。

第1作のアパッチ砦はサースディ中佐(ヘンリー・フォンダ)とヨーク大尉(ジョン・ウェイン)との確執が描かれ、カスター将軍の第7騎兵隊の全滅した出来事が元となっている

第2作の黄色いリボンは退役間近の老将校(ネイサン・ブリストル大尉)の6日間を追った映画

第3作のリオグランデの砦はメキシコ国境を挟んでのインディアンとの闘いが人間模様を織り込みながら描かれている。

リオグランデ川は当時も今もメキシコとの国境線で、川沿いにリオグランデの町があります。

ベン・ジョンソンとハリー・ケリー・ジュニアはローマ式立ち乗り(2頭の馬に跨る乗馬術)をフォード監督からマスターする様命じられ、3週間でマスターし、撮影ではノースタントで挑んだとの事です。

ジョン・ウェイン(1907~1979) 愛称 デューク(Duke) はビッグトレイル(1930)で初主演したが商業的に失敗、駅馬車(1939)(2004/H16 2008/H20 2回上映)がヒットしてスターになるまでの不遇時代 射撃・乗馬・格闘技を修得し、いざという時に備えたとの

事である。

勇気ある追跡(1969)でアカデミー主演男優賞受賞

搜索者(1956) (2010/H22 上映) 最初はあまり評価されなかったが、年々評価アップし、2008年にアメリカ映画協会によって「最も偉大な西部劇映画第1位」に選出された

生涯154本の映画に出演、79本が西部劇 俳優組合長も務めたそうです。

1979年 胃がんで死去、72才 入院中、大統領ジミー・カーターが見舞いました。

現職の大統領の見舞いは異例中の異例との事、日本ではミスターアメリカ死亡と報じられた

モーリン・オハラ ジョン・フォード監督作品でジョン・ウェインとの共演多数

2015年95歳で死去 2014年アカデミー名誉賞受賞

ベン・ジョンソン ラストショー/1971でアカデミー助演男優賞受賞

ヴィクター・ヤング 80日間世界一周でアカデミー音楽賞受賞